

平成22年度大学地域連携事業報告

平成23年3月31日

1. 担当は以下の通り

主担当校 滋賀県立大学
副担当校 龍谷大学
副担当校 長浜バイオ大学

2. 「環びわ湖大学・地域交流フェスタ2010」について

- 1) 実施日 平成22年12月11日(土) 13時～17時30分
- 2) 場所 滋賀県立大学 交流センター(彦根市八坂町2500)
- 3) 開催主旨 持続可能性あるまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進める地域と大学の共同の取り組みを促進するため、各大学の特色ある地域連携の取り組みを発表し交流すること。
- 4) 参加者等 13大学(42プロジェクト)の学生・教職員、自治体関係者(大津市、彦根市、草津市、東近江市、滋賀県等)および一般の合計250名
- 5) 概要

・基調講演

「学際的な地域学の確立と大学と地域の協働による『新しい公』の創造」

講師: 黍嶋 久好 氏

(愛知大学 三遠南信地域連携センター上席研究員、経済学部講師)

・ポスター発表

『地域を元気にする大学・学生活動』をテーマに応募のあった41事例と学生支援事業の活動を紹介するポスター、計42題の展示・発表。

・研究交流会(交流セッション)

【セッション1ー地域をフィールドとする学生活動ー】

① びわこ成蹊スポーツ大学 金田安正ゼミ

みんなのスポーツの実現ー水泳教室・スポーツフェスティバル・キャンプの活動を通して

② 滋賀大学 滋賀大学環境学習支援プロジェクト

滋賀大学環境学習支援プロジェクト「みんなで知ろう!身近な川の水調べ」

③ 龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター

「ナカマチ土曜夜市 in 丸屋町」へのボランティア協力

- ④ 立命館大学 ライフサイエンス研究会
地域交流活動(科学のおもしろさを子供たちに伝える活動)
- ⑤ 滋賀県立大学 近江楽座
一姓 一姓～畑に出会いの種をまこう！～
- ⑥ 長浜バイオ大学 CELL部 出前科学実験教室

【セッション2ー地域との連携プロジェクト研究ー】

- ① びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ開発・支援センター
びわスポキッズプログラム
- ② 龍谷大学 びわ湖 e-まち映像協議会分会 S-project !
映像に特化したメディア活動での地域活性化
- ③ 立命館大学 BKC キャンパス事務課
地域と大学が連携した交通や安全への取り組み
- ④ 滋賀県立大学 近江楽座
信・楽・人 field gallery project
「field gallery project」 Ogama 改装プロジェクト、shiroiro-ie の企画展
- ⑤ 滋賀大学 滋賀大学 SIFE(サイフ)
まち遊び検定 ケータイでクイズラリー

【セッション3ー教育プログラム研究ー】

- ① 龍谷大学 社会学部 大津エンパワねっと
- ② 立命館大学 共通教育推進機構 サービスラーニングセンター
立命館大学のボランティアコーディネーター養成プログラム
- ③ 聖泉大学 聖泉HSJ企画
NPO・地元企業と連携した地域力循環型キャリア教育プログラムー
学びのフリーマーケットー
- ④ 滋賀県立大学 環境科学部
集落に住む・集落に学ぶ～集落スティ～

【セッション4ー学生支援事業参加学生による報告ー】

学生支援事業委員会が主催して10月に開催した『環(わ)～手をつなごう
1万人のびわ湖大使』に参加した学生たちが、4つのグループに分かれて
報告を行った。

・全体交流会

大学と地域との様々な連携活動が広がっていくよう、活動奨励賞を選考し、
次の7団体に授与した。

環びわ湖大学地域交流フェスタ2010 活動奨励賞 受賞者リスト

	大学名	団体名	取組テーマ・名称
セッション1	龍谷大学	ボランティア・NPO活動センター	「ナカマチ土曜夜市in丸屋町」へのボランティア協力
	立命館大学	ライフサイエンス研究会	地域交流活動(科学のおもしろさを子供たちに伝える活動)
	長浜/バイオ大学	CELL部	出前科学実験教室
セッション2	龍谷大学	びわ湖e-まち映像協議会分会 S-project	映像に特化したメディア活動での地域活性化
	滋賀大学	滋賀大学 SIFE(サイフ)	まち遊び検定 ケイタイでクイズラリー
ポスターセッション	滋賀県立大学	近江楽座・Shiga食育推進プロジェクト	Shiga食育推進プロジェクト
	滋賀県立大学	近江楽座・ART FORUM 2010 DIG'S	地域資源を掘り出し、磨く「DIG'S」

6) 広報等

- ・ 12月12日付京都新聞に取材記事が掲載された。
- ・ 12月12日付中日新聞に取材記事が掲載された。
- ・ 12月18日(18:00~18:20)のびわこ放送「県政週刊プラスワン」(滋賀県広報番組)で放映された。再放送は12月19日(8:30~8:50)。

7) 成果報告書

- ・ 「環びわ湖大学地域交流フェスタ2010結果報告書」(A4版38ページ)を400部作成し、関係機関等に配布した。

(以上)

平成22年度学生支援事業報告

平成23年3月31日

1. 担当は以下の通り

主担当校 滋賀医科大学
副担当校 立命館大学
副担当校 成安造形大学

2. 「1泊2日の宿泊研修」について

- 1) 実施日 平成22年10月2日および同年10月3日
- 2) 場所 竹生島、沖島および琵琶湖博物館
- 3) 開催主旨 環びわ湖大学・地域コンソーシアムに参加する各大学の特徴を活かしつつ、地域住民との交流による地域理解やボランティア活動等を通じた社会学習的な学びの場とすることおよび学生が大学の垣根を越えて交流すること。
平成22年度の学生支援事業のテーマ・スローガンは、「環（輪）～手を繋ごう1万人のびわ湖大使～」である。
- 4) 参加大学数および参加者数
12大学の学生48名および教職員18名の合計66名
- 5) 概要

1日目（10月2日）

- ・学生交流企画Ⅰ 大学紹介
- ・学生交流企画Ⅱ 研修活動理解
- ・学生交流企画Ⅲ 成果発表会の事業計画（1日の総括、シンポジウムの発表テーマおよび発表メンバー選出）
- ・学生交流企画Ⅳ 学生交流会
- ・地域理解企画Ⅰ 法厳寺見学・住職の講話、竹生島散策
- ・地域理解企画Ⅱ 地元料理賞味昼食（弁当、鮎寿司）
- ・地域交流企画Ⅰ 地引網 漁協体験（魚種生態調査、加工方法）
- ・地域交流企画Ⅱ 沖島巡り 島民生活の学習（小学生に学ぶ島内生活および島内散策）
- ・地域交流企画Ⅲ 清掃ボランティア 環境保全と生業（ゴミから学ぶ環境理解）

2日目（10月3日）

- ・地域理解企画Ⅲ 琵琶湖博物館見学

6) 広報等

- 9月30日付（Web版は10月10日）京都新聞に取材記事が掲載された。
- 12月18日（18:00～18:20）のびわこ放送「県政週刊プラスワン」（滋賀県広報番組）で放映された。再放送は12月19日（8:30～8:50）。
- 成果発表は、12月11日に開催された「環びわ湖大学・地域交流フェスタ2010」で行い、1泊2日の宿泊研修や日頃の社会学習的な学びから得られた成果を学生目線で滋賀の魅力と振興の提言をした。

(以上)

平成22年度高大連携事業報告

平成23年3月31日

平成22年度において、大学側と高校現場とのパイプづくり、および環びわ湖大学・地域コンソーシアムの高校および生徒への認知ということを念頭に以下の取り組みを行った。

1. 担当は以下の通り

主担当校	立命館大学
副担当校	滋賀大学

2. 滋賀県高等学校進路指導研究会との連携による講演会の実施について

平成22年7月21日（水）に、滋賀県高等学校進路指導研究会と連携して、高大連携事業委員会委員長（立命館大学岡本直輝教授）を講師とする講演会を行い、県内の高校の進路部長を中心に80名強の先生の出席を得た。この後、進学部会長虎姫西島校長および校長会会長である石山高校今宿校長との連携が強まった

3. 滋賀県高等学校進路指導研究会進学部会「高大連携の現状と今後のあり方」分科会との連携について

平成22年8月25日（水）、高大連携事業委員会は、滋賀県高等学校進路指導研究会進学部会「高大連携の現状と今後のあり方」分科会に参加し、環びわ湖大学・地域コンソーシアム高大連携事業の紹介を行うとともに今後の協力依頼を行った。

4. 進学部会および校長会との定期的交流について

高大連携事業委員会委員長と進路部会（事務局・虎姫高校）との間で企画協議を行い、校長会へ企画を紹介した。これは、9月から12月までの間に2回行った。

連絡および協議については、主担当校である立命館大学と副担当校である滋賀大学との間で適宜行った。

5. 高校低学年向け「学びの誘い」（仮称）企画について

当初、文理選択や学部学科選びへの支援として、高校低学年向けの「学びの誘い」（仮称）の企画をしたが、平成22年度の実施には至らなかった。次年度において実施することとした。

以上の通り、平成22年度においては、滋賀県内の大学と滋賀県内の高校との間で、パ

イプ作りと知名度向上を図る取り組みが行われた。平成22年度の取り組みを踏まえて、平成23年度から、高大連携の本格的な取り組みを行うこととなる。

なお、A4版両面のリーフレットを1万部作成した。新学期から滋賀県内の高校1年生および高校2年生に配布する。 (以上)

平成22年度就職支援事業報告

平成23年3月31日

1. 担当は以下の通り

主担当校 龍谷大学
副担当校 滋賀県立大学

2. 合同企業説明会について

滋賀県内の企業・事業所の優良性を広く学生に認知してもらい、より多くのマッチングを実現するために「合同企業説明会」を県内2カ所において開催し、学生の就職支援を行った。

・湖北会場

- ・開催日時 : 10月14日(木) 13:00~16:00
- ・開催場所 : 滋賀県立文化産業交流会館イベントホール
- ・主催 : 環びわ湖大学・地域コンソーシアム
- ・参加企業数 : 19社 (内2社は資料参加)
- ・参加学生数 : 122名

・湖南会場 (学生就職面接会 in 大津)

- ・開催日時 : 10月19日(火) 13:00~16:00
- ・開催場所 : 滋賀県立県民交流センター (ピアザ淡海) 大会議室
- ・主催 : 大津市
- ・共催 : ハローワーク大津、環びわ湖大学・地域コンソーシアム
- ・参加企業数 : 27社
- ・参加学生数 : 197名

3. 滋賀県内企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会について

10月14日(木)に開催された合同企業説明会(湖北会場)にあわせて、企業の人事担当者と大学の就職担当者が交流・意見交換を行う場を提供した。これは、大学に企業情報や求める人材が伝わると同時に、この機会を通じてできたコネクションにより、企業と大学の距離が縮まり、マッチングの実現につながることを目的として開催したものである。

当日は、企業10社の採用担当者と11大学の就職指導担当者とが相互に情報交換を行った。

4. 大学就職担当者間の情報交換会・研修会について

コンソーシアムに加盟する大学の就職担当者が一堂に集まり、外部からの講師による話題提供に基づいて意見交換を行うことにより、新たな知識の蓄積と滋賀県下における就職状況等の把握、他大学における先駆的な支援施策などを知り、今後のキャリア支援等に役立てることを目的に開催した。

9月6日(月)に龍谷大学を会場として中尾文男氏(ジャパン・エンカレッジ・コミュニケーション代表)を招き、「就職活動でくじけている学生に寄り添う力」をテーマに講演・ワークを行った。

当日は、10大学から12名の参加者をえて、研修会(講演・演習)を行った後、「進路決定状況の把握の仕方について」「発達障害だと思われる学生への就職支援のあり方」などについて情報交換を行った。

- ・日 時 平成22年9月6日(月)14時30分～17時15分
- ・場 所 龍谷大学瀬田学舎 6号館プレゼンテーションルーム

第1部：研修会(14時30～16時)

講題：「就職活動でくじけている学生に寄り添う力」

講師：中尾文男氏(ジャパン・エンカレッジ・コミュニケーション代表、
東山中学教諭、滋賀県中小企業家同友会会員)

「どういう学生に育てたいか。どういう要素があると社会人といえるのか？」をテーマに、学生指導における重要事項について講演いただいた。特に本当にその学生の立場になって指導しているのかどうかをケースに沿いながら進められた。

また、「どのような気持ちで相手の話を聞くかで相手も話しやすくなる」ということを理解するために2種類の演習を行い、会話を進めることで、聞き手の思いによって話し手の話し方も変わることを体験した。その中では、話し手(学生)の話を聞くためには、全身全霊で「今ここに在る」状態で臨むことが必要であることを学んだ。

第2部：情報交換会(16時10分～17時15分)

①進路決定状況の把握の仕方について

就職内定者の状況把握が難しい中で、どのような方策で把握に取り組んでいるかについて意見交換を行った。大学規模により取り組み方に違いはあるが、どの大学も把握に苦労している点は共通していた。

②発達障害だと思われる学生への就職支援のあり方について

当該学生に対して、どのように指導すればよいのか意見交換を行った。

第1部研修会の中尾講師からも意見をいただきながら、キャリアセンターだけではなく、学生部などとも連携しながら学生支援・指導を行う必要性を共通認識とした。

(以上)

平成22年度単位互換事業報告

平成23年3月31日

1. 担当は以下の通り

主担当校 滋賀大学
副担当校 滋賀医科大学

2. 取り組みの経過について

2009年11月に立命館大学から単位互換事業の委員長校・事務局の引継ぎを受け、12月4日に教務担当者会議、同月14日に運営委員会を開催し、2010年度の単位互換事業の進め方（「ガイドライン」）について協議・決定し、2010年度の事業を開始した。

同月から、各大学からの提供科目の集約、シラバス原稿の集約を行い、募集ガイドを作成、3月中旬に各大学に募集ガイドを配布した。

4月上旬から、各大学で募集ガイダンスと出願受付を行い、4月末に科目提供大学で受講者を決定し、各大学で単位互換科目の授業が行われている。また、6月に定員に余裕のある夏期集中科目や後期開講科目について、追加募集を行った。

2010年6月14日に教務担当者会議を、6月24日に事業委員会を開催し、2010年度の単位互換事業の状況報告を行い、2011年度の開講に向けて、受講者数の増加対策として、夏期集中や土曜開講科目の充実、駅前サテライト教室（環びわサテライト）等での開講及び滋賀らしい科目の提供を参加大学に対して要請すると共に、単位互換事業委員会において滋賀らしい科目を開発・提供をすることを協議した。また、放送大学の活用について、放送大学滋賀学習センターから同大学の単位互換制度の説明とPRがされた。

3. 平成22年度における単位互換事業の内容について

(1) 提供科目

2010年度の提供科目数は64科目（同一科目を複数の曜日時限に開講する場合に、それぞれを1科目として数えたもの）で、2009年度と比べて13科目減少した。

なお、実質的な科目数（学生が選択できる科目数）は、2010年度は61科目、2009年は68科目であり、7科目の減少である。（提供科目一覧 別紙(1)参照）

(2) 受講科目及び受講者数

提供科目のうち、他大学生が出願し受講が許可された科目数（受講科目数）は30科目であり、受講者数は129名であった。受講科目数は2007年度の47科目をピークに3年連続で減少している。なお、滋賀県立大学及び長浜バイオ大学の提供科目

は、受講者が0名であった。

受講率(=受講科目数÷提供科目数)は47%で、昨年度からは4%増加している。

受講科目の中では、毎年多くの受講者がある聖泉大学の「滋賀論」は、本年も48名と多い。また、大学別の受講者の割合は、依然として立命館大学の受講者が受講者全体の78%を占めている。

受講者数の推移は、2007年度135件(102名)、2008年度130件(103名)、2009年度127件(106名)、2010年度129件(109名)であり、ほぼ横ばいで推移している。(提供科目数・受講科目数の推移、受講者数、受講科目一覧 別紙(2)(3)及び(4)参照)

(3) 成績取得状況

2010年度の単位互換科目の成績取得状況を見ると、受講件数129件のうち、不合格が33%(43件)で前年度に比べて10%減少した。2009年度は、受講件数127件のうち不合格が43%(54件)、2008年度は、受講件数367件のうち不合格は37%(135件)であったことから、学生への指導の成果の表れではないかと考えられる。

しかしながら、出願したものの授業に出席しない学生や試験を受験しない学生も多数存在している。

事務を担う科目提供大学の負担となるため、学生に受講計画を立てた上で出願するよう募集ガイドに明記するとともに、学生への一層の働きかけが必要である。

別紙

(1) 開講科目一覧

科目提供大学	科目番号	科目名	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限	単位
滋賀大学	01	近江とびわ湖Ⅱ	1回生以上	20名程度	秋学期	火	5	2
	02	滋賀大学で環境を学ぶ	1回生以上	20名程度	秋学期	木	1	2
	03	人間と社会	1回生以上	20名程度	秋学期	火	1	2
	04	近江の歴史	1回生以上	20名程度	春学期	火	4	2
	05	現代の諸問題	1回生以上	20名程度	秋学期	金	5	2
滋賀医科大学	06	医学概論Ⅰ	1回生以上	15名	前期及び夏季集中	木	2	2
	07	医学概論Ⅱ	1回生以上	15名	後期	木	2	2
	08	臨床心理学	1回生以上	不問	前期	火	5	2
	09	臨床コミュニケーション学	1回生以上	30名	前期	金	1	2
	10	地域論	1回生以上	5名	後期	木	3	2
	11	睡眠学概論	1回生以上	10名	前期	金	1	2
滋賀県立大学	12	環境マネジメント総論(文系) ※1	1回生以上	10名	前期	月	1	2
	13	環境マネジメント総論(理系) ※1	1回生以上	10名	前期	月	2	2
滋賀短期大学	14	滋賀の食事	1回生以上	若干名	前期	木	3	2
	15	心理学	1回生以上	若干名	前期	木	3	2
	16	発達心理学Ⅰ ※2	1回生以上	若干名	前期	火	3	2
	17					木	3	
	18	精神保健 ※3	1回生以上	若干名	後期	金	1	2
	19					金	2	
	20	秘書学概論	1回生以上	若干名	前期	水	4	2
	21	秘書実務Ⅰ	1回生以上	若干名	前期	月	3	1
	22	秘書実務Ⅱ	1回生以上	若干名	後期	月	2	1
滋賀文教短期大学	23	書道Ⅰ	1回生以上	若干名	春学期	火	1	2
	24	書道Ⅱ	1回生以上	若干名	秋学期	火	3	2
	25	地域文化概説	1回生以上	若干名	春学期	火	2	2
成安造形大学	26	美術理論	1回生以上	10名程度	前期	火	1	2
	27	文化史A	1回生以上	10名程度	前期	土	1	2
	28	文化史B	1回生以上	10名程度	後期	土	1	2
	29	近江学B	1回生以上	10名程度	通年	土	2	2
	30	心理学概論	1回生以上	若干名	前期	月	4	2
聖泉大学	31	解剖学	2回生以上	若干名	前期	金	1	2
	32	子どもを取り巻く環境	2回生以上	若干名	前期	火	1	2
	33	遊覧論	1回生以上	20名	夏季集中	7/4,11,17		2
	34	子どもと家族	2回生以上	若干名	後期	木	1	2
長浜バイオ大学	35	基礎微生物学	1回生以上	10名	前期	月	5	2
	36	基礎生物学	1回生以上	5名	前期	水	1	2
	37	細胞生物学Ⅰ	1回生以上	5名	後期	金	2	2
	38	遺伝子工学	2回生以上	5名	後期	水	5	2
	39	東近江の地域学	1回生以上	10名	後期	火	1	2
	40	遊覧の環境	1回生以上	10名	後期	火	1	2
びわこ学院大学	41	ビジネスコミュニケーション	1回生以上	10名	後期	金	2	2
	42	地球の歴史と琵琶湖	1回生以上	若干名	前期	金	1	2
びわこ成蹊スポーツ大学	43	女性と生涯スポーツ	1回生以上	若干名	前期	木	4	2
	44	スポーツとジェンダー	1回生以上	若干名	後期	木	4	2
	45	スポーツバイオメカニクス	1回生以上	若干名	後期	火	1	2
龍谷大学	46	生活の中の数学	1回生以上	15名	前期	水	3	2
	47	環境と人間A	2回生以上	20名	前期	月	4	2
	48	教養教育科目特別講義「里山学入門」	1回生以上	10名	前期	金	1	2
	49	エスニシティ論Ⅰ	2回生以上	不問	後期	金	3	2
	50	広報論	2回生以上	10名	後期	水	2	2
	51	公衆衛生学	3回生以上	5名	前期	金	3	2
	52	人間の心理と発達	2回生以上	5名	前期	木	4	2
	53	社会人類学	2回生以上	10名	後期	火	2	2
	54	観光学 G2	3回生以上	10名	前期	火	5	2
	55	特殊講義(近江・草津論) G1	1回生以上	10名	後期	月	2	2
立命館大学	56	経営と女性 B	1回生以上	10名程度	夏季集中	9/6-9/10		2
	57	キャリア開発 B	1回生以上	10名程度	夏季集中	9/6-9/10		2
	58	心理学入門 TA	1回生以上	20名程度	前期	水	2	2
	59	現代社会と法 TA	1回生以上	20名程度	前期	木	4	2
	60	生物科学Ⅳ TX	1回生以上	20名程度	前期	月	5	2
	61	メンタルヘルス G1	3回生以上	10名程度	後期	金	3	2
	62	現代の国際関係と日本 C	1回生以上	10名程度	前期	木	5	2
	63	スポーツと現代社会 V	1回生以上	10名程度	後期	金	2	2
	64	スポーツ史 V	1回生以上	10名程度	後期	水	3	2

(2) 提供科目数・受講科目数の推移 <自大学への出願を除く>

科目提供大学		滋賀大学	滋賀医科大学	滋賀県立大学	滋賀短期大学	滋賀文教短期大学	成安造形大学	聖泉大学	長浜バイオ大学	びわこ学院大学	びわこ成蹊スポーツ大学	龍谷大学	立命館大学	全大学計
2005年度	提供科目数	4	5	3	3	2	11	4	3	4	4	5	5	53
	受講科目数	2	4	3	2	1	3	1	0	2	2	3	1	24
		50%	80%	100%	67%	50%	27%	25%	0%	50%	50%	60%	20%	45%
2006年度	提供科目数	4	5	3	7	4	11	4	3	2	2	8	9	62
	受講科目数	2	3	3	5	1	2	1	1	0	1	8	5	32
		50%	60%	100%	71%	25%	18%	25%	33%	0%	50%	100%	56%	52%
2007年度	提供科目数	4	5	5	8	6	7	3	3	2	2	8	21	74
	受講科目数	4	3	3	6	4	5	1	0	2	2	6	11	47
		100%	60%	60%	75%	67%	71%	33%	0%	100%	100%	75%	52%	64%
2008年度	提供科目数	3	5	3	9	4	7	3	3	2	7	8	12	66
	受講科目数	2	5	1	7	2	4	2	0	2	0	8	5	38
		67%	100%	33%	78%	50%	57%	67%	0%	100%	0%	100%	42%	58%
2009年度	提供科目数	5	6	3	18	6	8	4	4	3	2	9	9	77
	受講科目数	4	4	1	7	3	1	1	0	2	0	6	4	33
		80%	67%	33%	39%	50%	13%	25%	0%	67%	0%	67%	44%	43%
2010年度	提供科目数	5	6	2	9	3	4	5	4	3	4	8	11	64
	受講科目数	4	4	0	4	2	2	2	0	1	1	6	4	30
		80%	67%	0%	44%	67%	50%	40%	0%	33%	25%	75%	36%	47%

(3) 受講科目一覧

科目提供大学名	科目名	受講者数
滋賀大学	近江とびわ湖Ⅱ	3
滋賀大学	滋賀大学で環境を学ぶ	5
滋賀大学	近江の歴史	1
滋賀大学	現代の諸問題	3
滋賀医科大学	医学概論Ⅰ	1
滋賀医科大学	医学概論Ⅱ	2
滋賀医科大学	臨床心理学	7
滋賀医科大学	睡眠学概論	4
滋賀短期大学	心理学	2
滋賀短期大学	発達心理学Ⅰ	1
滋賀短期大学	精神保健	3
滋賀短期大学	秘書実務Ⅰ	1
滋賀文教短期大学	書道Ⅰ	1
滋賀文教短期大学	書道Ⅱ	1
成安造形大学	美術理論	1
成安造形大学	文化史B	1
聖泉大学	解剖学	4
聖泉大学	滋賀論	48
びわこ学院大学	東近江の地域学	1
びわこ成蹊スポーツ大学	スポーツバイオメカニクス	1
龍谷大学	生活の中の数学	3
龍谷大学	環境と人間A	2
龍谷大学	教養教育科目特別講義「里山学入門」	6
龍谷大学	エスニシティ論Ⅰ	4
龍谷大学	広報論	6
龍谷大学	社会人類学	3
立命館大学	経営と女性 B	8
立命館大学	キャリア開発 (B)	4
立命館大学	メンタルヘルス G1	1
立命館大学	現代の国際関係と日本 C	1
		129

(4) 受講者数

	学生所属大学										
	滋賀大学	滋賀医科大学	滋賀県立大学	滋賀短期大学	聖泉大学	長浜バイオ大学	びわこ学院大学	びわこ成蹊スポーツ大学	龍谷大学	立命館大学	総計
科目提供大学	滋賀大学				1	1				10	12
	滋賀医科大学								1	13	14
	滋賀短期大学		1		3					3	7
	滋賀文教短期大学				1					1	2
	成安造形大学									2	2
	聖泉大学	2					1		4	45	52
	びわこ学院大学									1	1
	びわこ成蹊スポーツ大学									1	1
	龍谷大学									24	24
	立命館大学	4		1	1	2		2		4	14
	総計	6	1	1	1	7	2	2	4	5	100

4. 平成23年度（2011年度）における単位互換事業に向けた取り組みについて

2011年度の単位互換事業の実施に向けて、2010年11月18日に教務担当者会議を開催した。

2011年度の受講者数の増加方策として、学生が受講し易い土日、夏期等の集中開講科目の提供、サテライト教室での開講及び魅力のある滋賀らしい科目の提供を要請する共に、学生への積極的なPRを行うことを参加大学に要請した。

また、2011年度の単位互換事業の進め方及び単位互換事業のガイドラインで、提供科目の報告締切期限やシラバス原稿の提出締切期限を遅らせることにより、提供科目数を増加させることや、PRのためのチラシなどの作成・配布し、広報の強化を行って、受講者数の増加を図っていくことを協議した。

次いで、12月2日に事業委員会を開催し、受講者数の増加方策として、土日、夏期等の集中開講科目の提供、サテライト教室での開講、魅力のある滋賀らしい科目の提供を要請した。また、2011年度の単位互換事業の進め方、単位互換事業のガイドラインを協議し、決定した。

2011年度の開講・出願スケジュールは、別添のとおりである。

《 2011 年度開講・出願スケジュール 》

月日	教務日程	備考
1月28日(金)	【開講】2011年度提供科目報告期限	所定フォーマット
2月18日(金)	【開講】2011年度開講科目シラバス原稿第1次集約締切	所定フォーマット 最終締切は3/9
3月9日(水)	【開講】2011年度開講科目シラバス最終原稿締切 【厳守】	
3月中旬	【開講】2011年度「募集ガイド」HP掲載	
4月上旬	【出願受付】募集ガイダンス・出願受付	
～4月12日(火)	【出願受付】出願受付 <各大学> ※許可発表以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
4月14日(木) 17:00【厳守】	【出願受付】「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定フォーマット
4月15日(金) ～21日(木)	【出願受付】出願者の選考 <科目提供大学>	
4月22日(金) 17:00【厳守】	【出願受付】選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学および事務局大学>	所定フォーマット
4月25日(月) ～4月28日(木)	【出願受付】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【出願受付】受講登録	所属大学で随時
4月25日(月) ～5月11日(水)	【追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
5月12日(木) 17:00【厳守】	【追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※夏期集中・後期科目を対象とする。	所定フォーマット
5月13日(金)	【追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
5月30日(月) ～6月13日(月)	【追加募集】追加募集受付 <各大学>	各大学の状況に応じて設定
6月15日(水) 17:00【厳守】	【追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	
6月16日(木) ～23日(木)	【追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	所定フォーマット

～6月24日(金) 17:00【厳守】	【追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学および事務局大学>	所定フォーマット
6月27日(月) ～7月1日(金)	【追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時
8月22日(月) ～8月30日(火)	【再追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
8月31日(水) 17:00【厳守】	【再追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※後期科目を対象とする。	所定フォーマット
9月1日(木)	【再追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
9月15日(木) ～9月22日(木)	【再追加募集】追加募集受付 <各大学>※許可発表以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
9月26日(月) 17:00【厳守】	【再追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	
9月27日(火) ～10月3日(月)	【再追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	所定フォーマット
～10月4日(火) 17:00【厳守】	【再追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学および事務局大学>	所定フォーマット
10月11日(火) ～10月14日(金)	【再追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【再追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時

(以上)

平成22年度広報事業報告

平成23年3月31日

1. 担当は以下の通り

事務局

2. ホームページの管理・運営について

コンソーシアムの名称・体制等の変更に伴い、Webサイトをリニューアル（10月1日）し、情報提供を行った。年度内において「お知らせ」記事を11件ホームページ上で掲載した。

年度内のアクセスは、18248件であった。

3. 広報資料の作成・配布

第2ステージに入ったコンソーシアムを紹介する資料として、リーフレットを1万部作成した。

同リーフレットを、会員の各大学・自治体等に配布するとともに、県内の高校、京都府内の高校、大阪府内の高校、県内図書館、県内市町および他の大学コンソーシアムの計414か所に配布した。

4. オリジナルロゴの活用

コンソーシアムのロゴを各種広報物やホームページに掲載し、コンソーシアムの存在と活動についての浸透を図った。

5. 事業委員会と連携した広報活動について

就職支援事業（合同企業説明会）、地域連携事業（環びわ湖大学地域交流フェスタ2010）および単位互換事業について、各事業委員会と連携してホームページ掲載をはじめとした広報を行った。

「環びわ湖大学地域交流フェスタ2010」の取り組みにおいては、大学のほか、商工会・商工会議所等経済団体、市町企画広報担当、図書館等公共施設およびNPO中間支援センター等の計157か所にポスター90枚およびチラシ1124枚を配布した。

(以上)